

Def. Doc. 1739

No. 41

(B)

「ツクス」海軍長官ハ二月一日ヲ期シテ米國艦隊ノ編成替ヲ行フヘキ旨ヲ發表セルカ之ニ依リ亞細亞艦隊ハ艦隊ノ地位昇格スルコトナソリ而シテ同時ニ同長官ノ言明スル所ニ依レハ、新亞細亞艦隊ノ所定水域及勢力ハ從來ト變化ナク且適當リ増強ノ意固ナキ懸ナルモ兎モ角右地位ノ昇格ハ毎日章制の一「ヂエステヤ」カ主目的ニシテ目下建設中ナル南洋艦隊完成ノ時之ヲ現實ニ増強セントスルモノト稱セラ

(A)

亞細亞艦隊ハ甲級巡洋艦一、「ヒューストン」乙級巡洋艦一、「マーブルヘッド」、驅逐艦隊（母艦一、驅逐艦十三）、潛水艦隊、空母一、潛水艦十二隻、航空部隊（母艦三）及支那用警備隊、補給部隊等ヨリ成リ、目下比島ニハ以上ノ内支那用警備隊ヲ除ク外全部及他ニ潛水艦二隊駐在スル模様ナルカ、更ニ本國及布陸方面方面ヨリノ艦船ノ來航頻繁ナル懸ナルカ右ハ米艦船ヲ極東水面ニ於ケル作戰ニ習熟セシムル目的ニ出ツトノ説アリ。尙在比米艦隊ハ馬尼刺、「ダヴァオ」等ヲ根據トシテ常ニ演習ニ從事シツツアリ。

對日章制ノ意圖ヲ以テ米本國主力艦隊カ比島

(2) 航空兵力ノ増強

(イ) 第一次増強

昭和十四年九月VP二一隊十四機ヲ布陸ヨリ
「マニラ」ニ増派セリ

(ロ) 第二次増強

昭和十五年六月四日VP二六隊飛行艇十四機
ハ布陸發「マニラ」ニ向ヒタル處同隊ト交替
ニ十五日VP二一隊十四機ハ修繕ノ爲布陸ニ
向ケ歸還セリ（後出現勢力ノ狀況ヨリ考察ス
ルニVP二一隊モ其後「マニラ」ニ派遣セラ
レタルモノト認めラル）

(ハ) 第三次増強

昭和十五年十月二十三日米陸軍省ハ比島軍備
増強ノ爲「ハミルトン・フィールド」第三十
五道軍機団所屬第二十編隊（飛行機二七機、
士官二〇名、下士以下一五七名）及「ミシガ
ン」州「セルフリッヂ・フィールド」第一道

ニ來航スヘシトノ説ハ屢々報道ニ上リ、客年
六月米艦隊カ布陸ヲ出航シテ行先不明トナリ
タル際ニモ斯カル説カ唱ヘラレタル處、最近
再ヒ太平洋艦隊ノ一部カ對日「デエスチャー」
トシテ臨時的ニ比島ニ派遣セララルヘシトノ風
評アリ。

撃機園所屬第十七編隊（飛行機二七機、士官二四名、下士以下三三〇名）ノ同島派遣方聲明セル處其ノ後ノ情報ニ依レハ「ハミルトン・フィールド」所屬編隊員一七七名ハ十一月二十三日ニ、又「セルフリツヂ・フィールド」所屬編隊員三五四名ハ十二月五日ニ夫々比島ニ到着シ、何レモ「ニコルス・フィールド」ニ配屬セラレタル趣ナリ。

(二) 右增強編成替ノ結果

昭和十五年十二月現在陸海軍所屬空軍現有勢力左ノ如シ

(1) 米陸軍航空隊

- 「ニコルス、フィールド」所在ノモノ一第
- 二十航空基地戰隊、混成飛行第四戰隊、第三驅逐中隊（二十七機）第十七驅逐中隊（二十七機）及第二十驅逐中隊（二十七機）
- 「クラーク、フィールド」所在ノモノ一第二觀測中隊（十三機）及第二十八爆撃中隊（十三機）

(2) 米海軍航空隊

- 「カビテ」要港ニ第一〇一哨戒機中隊（十二機）（舊VP二一隊）及第一〇二哨戒機中隊（十二機）（舊VP二六隊）ヨリ成ル

中隊 (十二機) (五V E 二六機) 第一〇哨戒機群アリ。第一〇哨戒中隊 (十機)

3 比島國防軍航空隊
「サブラン、フィールド」所在ノモノ一第
七観測中隊 (練習機四十機) 二十八機中隊
「セブ」飛行場所在ノモノ一第六観測中隊
(十機)

(ホ) 昭和十五年十二月下旬入手セル情報ニ依リハ
在比米海軍當局ハ馬尼刺南方「ロスバノス」
海軍航空基地建設ヲ計画中ナル趣ナリ

(ヘ) 昭和十六年二月二十七日「システムソン」陸軍
長官ハ近ク比島ヘ四逐機二個中隊 (五〇機)、
操縦員六五名一増派ノ旨言明セリ

(ト) 同四月下旬入手セシ情報ニ依レハ比米空軍
増強ノ爲泰、西貢其他向ケ爆撃機部分品ヲ其
管組立使用セル外極秘裡ニ米國ヨリ「ホノル

ル」經由ニテ爆撃機数臺ヲ空輸セル趣ニシテ
同空軍ノ有スル重爆撃機ハ昭和十五年夏「ホ
ノルル」經由飛來セシ十二機 (「コンソリテ

テッド」型海軍重爆撃機) カ新嘉坡ニ空輸セラ
レス其儘使用セラレ居レバ約二十二機ナル旨
新聞ニ報道セラレタリト云フ

(チ) 同四月四日紐育發A、P、(四月五日「シド
ニー、テレグラフ」紙掲載) ハ比在米陸軍

3

ハ更ニ爆撃機及戦闘機ノ増強ヲ行ヒタルガ右
 ハ佛印及泰カ國境協定ノ秘密條項ニ依リ日本
 ニ馬來及「ボルネオ」ニ近接シ空軍及海軍並
 地使用ヲ許可セリトノ報ニ基クト云ハルル旨
 報道セリ

陸軍兵力ノ増強

(イ) 昭和十五年八月二十八日、大統領、六國防軍並
 豫備軍三十九萬六千人一箇年軍事訓練實施ノ
 爲召集シ且必要ニ應ジズシ兩半球並ニ比島ヲ
 含ム島嶼ニ配備シ得ヘシトノ法案(二十三)
 日議會ヲ通過セルヲ以テ、二十八日大總統裁可
 今後比島陸軍ノ増強セラルハキコト豫想ニ
 難カラス

(ロ) 土民軍ニ對シテハ米國陸軍ニ於テ臨時訓練
 ヲ行ヒ居リ、本年二月三日同盟電ニ依リハ米
 國陸軍司令部長官「グラナード」少將ハ同日
 既ニ五ヶ月半ノ入營ヲ終ヘル比島人豫備兵中
 約五千名ニ對シ再召集ヲ爲シ、更ニ一ヶ年米
 國陸軍ニ於テ訓練ヲ行フヘキ旨發表セル趣
 ナリ

(參考)

比島ノ陸軍兵力ハ巡警隊ト稱セラルル土民軍七
 千三百名並ニ米國ノ陸軍三千七百名ヨリ成リ。

Def. Doc. 1739

No. 46

- 兵營ニハ「サンテヤゴ」(馬尼刺)、「シヨン」
「ヘイ」(「バギオ」)、「スタツエンバード」
「バンバンガ」州)、「ミールス」(「コレ
ヒドル」)、「マツギン」(「リサトル」
州)、「ベテイツト」(「サンホアンガ」)及「
マニラ」各兵營アリ。...
- (ハ) 昭和十六年二月二十六日華府發同盟ハ米陸軍
省ハ適般本國歸還ヲ命シタル佐官尉官級將校
六十六名ノ歸國命令ヲ取消セル旨又比島土民
軍(現在約六千)ヲ倍加スル計畫中ト傳ヘラ
ル旨報セリ
- (ニ) 四月下旬入手セシ情報ニ依レハ米陸軍部隊二
〇〇〇名(内將校一七名)ハ軍用船「リバブ
リツク」號ニテ四月二十二日「マニラ」ニ到
着セリト尙二、三週内ニ軍用船「ワシント
ン」號ニテ更ニ増派部隊到着スヘキ旨傳ヘラ
レ居ル趣ナルガ其員數ハ二、二〇〇名ニシテ
五月中到着ノ豫定ナリト「マニラ」ヨリ放送
セラレタリ
- (ホ) 四月十六日北京發同盟ニ依レハ米國北京駐屯
軍一五〇名(「ダート」)司令官指揮ハ
五月下旬同地ヲ引揚ケ秦皇島、上海經由「マ
ニラ」方面ヘ向フコトトナレリト云フ

Def. Doc. 1739

No. 47

(一) 四月八日、入手セシ情報ニ依リハ比島國軍ニ於

(一) 四月初、入手セシ情報ニ依リハ比島國軍ニ於
テハ庇比米國軍ノ比島豫備兵再訓練召集トハ
別個ニ目下豫備兵ヲ召集シツツアリ其目的ハ
海外派遣ノ爲ナルガ如ク應召兵數名ノ言ニ當
スレハ右派遣地ハ布陸、香港、新嘉坡ナル類
ナリ

(ト) 四月十八日「マニラ」發同盟電ニ依リハ同地
「デーリー」、ブロンチン一紙ハ比島官邊ヨリノ
情報トシテ最近庇比米國軍當局ト比島政府ト
ノ間ニ比島國軍ニ行ヒ來タレル義勇訓練ヲ米
國軍側ニテ引受クルコトニ決定セル旨報シ所
ル處右ニ依リ從來財政難ノ爲半減シ居レル彼
訓練者ノ數ヲ從前通年四萬人ニ復歸増員スル
コトトナリ米國側モ既ニ軍事教官ノ數ヲ増強
シ居リ近ク比島各地ノ兵舎訓練所ニ改善ノ施
シ新訓練制度ノ實施ニ備フル趣ナリ

（一）四月八日、入手セシ情報ニ依リハ比島國軍ニ於
テハ庇比米國軍ノ比島豫備兵再訓練召集トハ
別個ニ目下豫備兵ヲ召集シツツアリ其目的ハ
海外派遣ノ爲ナルガ如ク應召兵數名ノ言ニ當
スレハ右派遣地ハ布陸、香港、新嘉坡ナル類
ナリ
（ト）四月十八日「マニラ」發同盟電ニ依リハ同地
「デーリー」、ブロンチン一紙ハ比島官邊ヨリノ
情報トシテ最近庇比米國軍當局ト比島政府ト
ノ間ニ比島國軍ニ行ヒ來タレル義勇訓練ヲ米
國軍側ニテ引受クルコトニ決定セル旨報シ所
ル處右ニ依リ從來財政難ノ爲半減シ居レル彼
訓練者ノ數ヲ從前通年四萬人ニ復歸増員スル
コトトナリ米國側モ既ニ軍事教官ノ數ヲ増強
シ居リ近ク比島各地ノ兵舎訓練所ニ改善ノ施
シ新訓練制度ノ實施ニ備フル趣ナリ

No. 48

Def. Doc. 1739

(4) 防備施設ノ強化

- (イ) 昭和十六年三月十日「マニラ」發同盟ニ依
レバ「ルソン」島北岸「アバリ」飛行場ハ
最近完成正式ニ開場シ尙航空局及「カガヤ
ン」州當局ニ於テハ「アバリ」南方八十浬
「ツゲガラオ」ニモ新飛行場新設ニ決シ
近々着手ノ豫定ナルガ「ルソン」北部ニ於
ケル飛行場ノ開設ハ同地方ガ我台灣ニ接近
シ居ル關係上極メテ重要視サルル旨報道セ
ル
- (ロ) 三月中旬入手ノ情報ニ依レバ
(一) 「ミンダナオ」島「スリガオ」州北岸「
ブラセル」沖小島内側ニ「タシク」建設
中
(二) 「カガヤン」及「スリガオ」間道路橋
梁架設ヲ急ギ
(三) 「マニラ」州「グスマン」西南ニ山
上ニ信號所新設
(四) 「タラウシ」山(「ダンサラン」裏手)ニ
見張所新設
(五) 「バラシ」駐屯所ニ水道敷設工事ヲ開始
セリト云フ
- (ハ) 四月初入手セシ情報ニ依レバ「バツング」

No. 49

Def. Doc. 1739

河口米陸軍軍用地ニ於テ四月四日六時砲十
思ハルル大砲(砲身三米位)約三十門ヲ墜
揚セシ趣ナリ

(二) 台湾總督府警務當局ノ入手セシ情報ニ依
バースピツク一灣一帯「リంగాエン」及「
リంగాラン」一灣方面ノ重要地帯ニ於テハ
人及比人ヲ撤退セシメ防備設備ニ寧日ナキ
有様ナリト云フ

(ホ) 四月下旬入手ノ情報ニ依レバ「マニラ」
口「コレヒドール」要塞ノ對岸「マリベ
ス」一「バタイン」州ノ防備施設ヲ強化
スル趣ナルガ石ハ四月二十一日米海軍
委員會可決ノ海軍基地建設計畫中ニ含マレ
居ルト云フ尙海軍基地及飛行場増設及改良
ノ爲四月二十日米海軍專門技師五名「タリ

(ハ) 三月十三日「マニラ」發同盟ハ比島議會ハ
三月十二日一九四二年度國防豫算ヲ秘密會
ニテ審議シタルガ傳ヘラルル所ニ依レバ其
内容ハ砂糖消費稅増長金及弗平價切下ニ依
ル差金約一億比ノ大部分ヲ武器購入、海上
警備増充等ニ充當セントスルモノナル趣報

(5)

(イ) 非

(ト)

道シタルガ四月下旬入手ノ情報ニ依レバ米
 國政府ニ於テハ右國防強化費ノ使用許下方
 考慮中ノ趣ナリ
 四月下旬入手セシ情報ニ依レバ最近飛行機
 自動車其他軍需品ト認めラルル貨物ノ米國
 軍用船ニ依ル比島向輸送増加セル趣ナリ
 非常時對策
 二月二十八日「セイヤー」駐比米國高等辦
 務官ハ新聞記者會見ニ於テ非常時ニ於ケル
 比島市民保護ノ爲客年十月以來米比共同ニ
 テ非常時企業局 Emergency Planning Board
 ナルモノヲ結成シ米軍部當局ト協力シテ比
 島ノ防衛對策ニ當リ居ル旨發表シタルガ同
 局ハ米國商業會議所、比島商業會議所、米
 比兩政府關係者等ヲ以テ委員ヲ構成シ高等
 辨務官附武官「カースウエル」大佐ヲ委員
 長トシ(一)食糧供給委員會(二)輸送委員會(三)醫
 療具藥品供給委員會(四)交通委員會(五)一般福
 祉委員會(六)勞力委員會ニ其專業ヲ分擔セシ
 メ居レリ、尙「セイヤー」高等辨務官ハ三
 月十八日「グルナート」駐比米陸軍司令官
 ヲ招致シ右企業局ノ提出セル戰時ニ於ケル
 市民防衛案ニ關シ協議シタルガ同防衛案ハ

自十... 中... 下...

特ニ食糧、燃料、自動車、出「トラツク」の
「バス」等ノ軍事徵用ハ防空壕、「ガス」
マスク、燈火管制等ノ防空施設及空襲時
ニ於ケル婦女子ノ避難等ニ關スル計畫ヲ立
案セラレ居ル旨傳ヘラレシ趣ナリ

(ロ) 三月二十四日「マニラ」在留米人約二百五
十名ハ米人協力委員會 (American Cordi-
Fighting Committee)

ナルモノヲ結成シ今後ノ國際難局ニ處スヘ
キ諸方策ニ關シ協議セリ

(ハ) 四月下旬入手ノ情報ニ依レバ陸比米陸軍ニ
於テハ比島産業施設及物資「ストツク」計

査中ナリト云フ
(3) 「ミッドウエイ」「ジョンストン」「バ
ルミラ」「ロイズ」「サモア」「ウエー

ク」及「グアム」諸島
米國太平洋軍基地トシテハ前記布哇比

律賓ガ最完備セルモノナルハ言ヲ俟タサ
ル所ナルガ右ノミヲ以テシテハ防備ノ完

全ヲ云々シ得ズ今假リニ太平洋ノ地圖上
ニ「ミッドウエイ」島ヨリ始マリ「バ

ルハーバー」(布哇)「ジョンストン」
「バルミラ」「ロイズ」「サモア」「ウ

エトク「グアム」諸島ヲ貫キ「キヤビ
 テ」(比律賓)ニ至ル線ヲ描キ更ニ右線
 ヲ「シンガポール」ニ迄延長スルトキ大
 体米國ノ意圖シ居ル太平洋防禦線ヲ察知
 スルコトヲ得ヘシ
 尙前記布哇及比律賓ヲ除ク諸島ノ軍備狀
 況ニ關シテハ詳細不明ナルモ入手情報ニ
 依レバ「

(イ) 昭和十五年十二月二十一日華府登UPハ米
 國海軍省ハ同日附ヲ以テ「バルミラ」島ヲ
 海軍省ノ管轄下ニ移ス旨發表同時ニ同島ニ
 海軍航空部隊ノ使用ニ供スル目的ヲ以テ既
 ニ燃料貯藏、信號施設、道路工事進行中ナ
 ルコトヲ明カニシタル旨、及米海軍當局ニ
 於テハ目下布哇ヲ基點トシ濠洲係由新嘉坡
 ニ到ル軍事的海上連絡開船計畫ヲ極秘裡ニ
 進メツツアリ「バルミラ」島ヲ海軍省管轄
 下ニ移シタルハコノ計畫實現ヘノ第一歩ナ
 ル旨報道セリ

(ロ) 昭和十六年二月十一日大統領ハ大西太平洋兩
 洋ノ海軍基地強化豫算ヲ提出セシメタルガ
 右ニ「ハ「グアム」島ノ基地強化費トシテ四
 百七十萬弗及「サモア」諸島中「ツツイラ」

(ハ)

島ノ軍事施設費トシテ八百十萬弗ヲ含ミ居
レル處議會ノ協賛ヲ經テ三月十七日同總算
案ノ成立ヲ見タリ

同二月十八日米國大統領ハ「ミッドウエイ

「ジョンストン」 「バルミラ」 「ローズ」

「ツツイラ」 「サモア」 群島「ウエー

ク」 「グアム」ノ諸島ヲ「キングマンリー

フ」 「クレブラ」島「ウナラスカー」 「キ

カ」 「カネオヘ」海（布陸）等ト共ニ海軍

防備區域ニ指定シ同日ヨリ九十日以降特別

ノ許可ナキ限り船舶及航空機ノ立入ヲ禁止

セリ

（尚）「コディアック」 「アラスカ」 及

「スピツタ」海（比律賓）ハ三月下旬ニ至

リ前記防備區域ニ追加指定セラレタリ

（ニ）同三月四日「サンデイエゴ」發報道ニ依レ

ハ新式裝備ヲ有スル海兵二個部隊（人員約

千五百名）ハ航空母艦一隻輸送船數隻ニ分

乗シ最近同地ヲ出發セル處行先極秘トセラ

レ居ルモ一般ハ「サモア」及「クリスマス

群島ニ向ヒタルモノナリト稱シ居レリ

（ホ）

同三月四日新聞報ニ依レバ「アメリカン、
ブレシデント、ライン」ノ「ブレシデント

No 54

Def. Doc. 1739

英領軍事基地

(一) 新嘉坡
(1) 海軍

(甲) 軍港並ニ軍事施設

第二次歐洲大戰前既ニ大艦隊ノ基地トシテ補給

修理ニ遺憾ナキ設備ヲ有シオリタルモ開戦後更

ニ擴張工事ヲ施シ其ノ増強ニ努メツアル状態

ナリ。其ノ使役シツツアル労働者ハ支那人一萬

六千人、土人及馬來人二萬五千人ナリト傳ヘラ

ル

揚米人並中米人ナリシ由

ニ入港セルガ乗客八百名ノ大部分ハ極東引

客員數千二百名ニシテ神戸ヨリ十六日羅府

尙同船ハ三三、四〇〇噸長サ六〇〇呎、乘

ル旨述べタルニ基クモノナル趣ナリ

長ガ目下客船數隻ヲ軍隊輸送船ニ改装中ナ

最近「ベスレヘム、スチール」造船會社社

等基地ニ對シ軍隊輸送船ヲ必要トシ居リ且

右ハ米國陸海軍ガ布哇、「グアム」、比島

定セリ

クルリツチ」號ハ米國陸軍輸送船ニ徵用サ

ルルベシトノ旨アルトコロ同社側ハ之ヲ否

(ホ)

同三氏四日海軍對シテハ「ベスレヘム」

Def. Dec. 1739

No. 55

大砲の数は... 砲台の数は... 砲の口径は...

軍港防備ノ要塞トシテハ... 一八吋砲(射程三十哩)...

レバ「ブラン」ウピン」島及諸地... 「ロリアンゼルス、タイムス」ニ依...

ニ通ズル海峡入口近クニ各一、アリ... ト報ス...

一六吋砲 三門

一五吋砲 三五門

一四吋砲 三門

一三吋砲「ロリアンゼルス、タイムス」ニヨ...

レバ多クアリト言フモ前記一五吋砲...

ノ事ナランカ)

九吋砲 三門

其他中小口径砲 丘頂上ニ多クアリ

高射砲 (四十六封度) 射程四萬呎)

更ニ同様ノ裝備ガ「ブナム」「ブラカン」...

イ」兩島及ビ「フォート、カンニング」...

ング」「カトン」「バシル、バンザン」ニ施サ...

レル趣ナリ...

其他敵前上陸防止ノ設備トシテ左ノ如キモノヲ

設ケタリ

其餘前土領國土ノ領土ニテ式ノ時キチノ...

(イ) 東西兩岸ノ防備ハ著シク強化セラレ「ウエス

ト」ト「ロト」ト「路」ノ右側ハ三百米毎ニ「ベト

ト」ト「ト」ト「チカ」ト「橋」築セラレ「スワ

ジ」ト「横」ニ「鐵條」網ヲ廻ラシ「バン

ダ」ト「河」口ニ「六五

鐵筋」コンクリート製ノ望樓五個ヲ設ケ、

正面ノ防備ヲ強化セリ

(ロ) 南部海岸ハ機銃、「タンク・トラ

ップ」鐵條

網設置セリ。「ロ」ス「アンゼルス」

「タイムス」

所報

(ハ) 「ジ」ヨ「ホ」トル「陸橋」ノ右側ナル「ク

ラン」デ

「河」口ニ新ニ「潜水艦」ノ基地及七海軍燃料廠ヲ

築スベク工事ヲ進メツツアリ

(ニ) 「ジ」ヨ「ホ」トル「海峽」ノ東側軍港側並ビ

「シ」ヨ「ホ」トル「河」ニ對シ「一般航行」ヲ廢禁セリ

(ホ) 「シ」ン「ガ」ボ「トル」東南正面五哩及ビ軍港入口海面ニハ機雷多數ヲ敷設シ之ヲ封鎖セリ

(乙) 常備艦隊

同島ハ西東艦隊ノ根據地ナルモ第二次歐洲大戰前ニ於テハ艦艇ノ中香港、支那方面ニ碇泊スルモノ多ク「シ」ン「ガ」ボ「トル」ニハ多數ノ艦艇ガ長期ニ亘リテ配備セラレタル事稀ナリシガ第二次大戰勃發以來英海軍當局ハ西東艦隊ヨリ、「ノ

Def. Doc. 1739

No. 57

「リスオトク」、「リパブール」、「パルミンガム」ノ三巡洋艦ヲ本國ニ廻航セシメタル爲現在「シンガポール」常備ノ艦隊ハ僅少ニシテ濠洲新西蘭方面ヨリ歐洲、「アフリカ」ニ向フ船隻ノ腹巻ニ用フル艦ノ出入アルノミナリ

(二) 空軍

(甲) 極東空軍司令部

「シンガポール」、「ユニオン・ビル」ニ在リテ印度、馬來、香港ノ空軍ヲ統轄ス

(乙) 空軍構成及ヒ現有勢力左ノ如シ

「セレタ」航空隊 (爆撃) 十三ヶ中隊 (二ヶ中隊昨年五月本國歸還)

「セレタ」練習隊 三ヶ中隊

「テナガ」航空隊 (戦闘) 七ヶ中隊 (一ヶ中隊昨年五月本國歸還)

「サントーランド」遠距離哨戒隊 三ヶ中隊

空軍關係兵員 五千

機隊ニ關シテハ正確ナル尋判明セザルモ練習機ヲ合シテ約六〇〇機ナリトノ報告 (一五、六、五) アリタル處其後「シンガポール」當局ノ發表ニ依レバ左ノ如ク増強セラレタル趣ナリ

一五年七月「ノースロップ」双發爆撃機 (米國製)

五〇機

一五年八月「コシモノウエー」偵察機 (米國製)

四〇機

Def. Doc. 1739

No. 58

「スピッドファイヤ」戦闘機（英國製） 五〇〇機

二五年二月「ユンソリテレット」爆撃機（米國製） 二〇〇機

「ロックスピット」爆撃機（米國製） 二〇〇機

「オリユースター」戦闘機（米國製）機數不明

「ゴソリテレット」長距離爆撃機 六三

尚米國製「コンソリテレット」及ビ「ロツクヒ

「ド」二〇〇機ハ發表セラレタル如キ方法ヲ以テ

米國ヨリ輸送スル事ノ技術的ニ困難ナル點等ヨリ

推測シ極メテ少數到着セルノミナルベシト思料セ

ラレ、大体英當局ノ發表ハ誇大ナル宣傳ニ過ギズ、

現有ノ第一線機ハ「スピッドファイヤ」戦闘機、

「フレンチバイ」爆撃機等ノ新鋭機ヲ含ム二五〇

機程度ナルベシト推測セラレ

但シ同島ノ航空隊ノ新鋭機ハ次第ニ米國製ヲ以テ

置換セラルルハ事實ナルモノノ如シ

(丙) 飛行場

「セレン」及ビ「ケダ」州「スンガイバタニ」ノ

「スピッドファイヤ」戦闘機ハ「ケダ」州「スンガイバタニ」ノ

第三軍用飛行場ニ於テハ、

其他半島各地ニハ支那軍機ノ教訓ニ依リ分散基地

ヲ設クベク工事中ナル處特ニ「シヨホル」州「

ケルマン」及ビ「ケダ」州「スンガイバタニ」ノ

二基地ハ大規模ナルモノニシテ、又「ピナン」ハ

最近印度洋方面ニ對スル作戰根據地トシテ重視セ
 ラルルト共ニ「シンガポール」ノ第二線根據地ト
 シテ目セラレ陸海空軍ノ施設着々トシテ進捗中ナ
 リ

(目下五個中隊配備サレオル趣ナリ)

(以下次頁ニ續ク)

王國總領事二大尉
 王國總領事二大尉
 王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

王國總領事二大尉

No. 60

W 3566

Def. Doc. 1739

混成師
一ヶ團

(3) 陸軍

陸軍ノ昭和十五年六月現在ニ於ケル構成左ノ如シ

重砲兵旅
一ヶ團

- 王國第七重砲兵聯隊 四ヶ中隊
 - 王國第九重砲兵聯隊 四ヶ中隊
 - 王國砲兵 高射砲第二十二山嶽隊分遣隊
 - ブレン野戰砲兵聯隊 分遣隊
 - 重戰車砲聯隊 分遣隊
- 裝備
一六九二吋海軍砲

防砲兵旅
一ヶ團

- 王國第三高射砲聯隊 二ヶ中隊
 - 香港シンガポール第一高射砲聯隊 三ヶ中隊
 - 香港シンガポール第一高射砲聯隊 一ヶ中隊
 - 七五耗高射砲隊
 - 三七耗高射機關砲隊
 - 探照燈隊
- (砲二百門以上)

歩兵旅團
一ヶ

- 王國聯隊第二大隊
 - マンチエスター聯隊第一大隊
 - ゴートン高原兵聯隊第二大隊
 - サウザーランド高原兵第二大隊
 - 英兵四ヶ聯隊 六ヶ聯隊
 - 印度兵二ヶ聯隊
- 裝備
ブレン重機銃
輕戰車砲步兵砲

補助兵科

工兵、要塞工兵

マドラス地雷工兵第十五戰爭中隊

四ヶ中隊

9956